

尼崎市自立支援協議会 あまのしごと部会

令和7年度の取り組みについて

あまのしごと部会の役割

障害のある方の「働くこと」についての課題を検討・協議し可能な限り課題を解決していく

⇒福祉的就労・一般就労の2つの側面からのアプローチ

令和7年度 あまのしごと部会 活動内容

| 活動日 | 活動内容 |
|-----------|--|
| 令和7年4月12日 | 第9回就労支援フォーラムについての検討・今後の部会の取り組みについて 全体会について・販路開拓事業の報告 |
| 5月19日 | 第9回就労支援フォーラムについての検討・今後の部会の取り組みについて 全体会について |
| 6月9日 | 第9回就労支援フォーラムについての検討・今後の部会の取り組みについて 全体会の報告 |
| 7月14日 | 阪神友愛食品株式会社見学・第9回就労支援フォーラムについて ・今後の部会の取り組みについて・販路開拓事業の報告 |
| 8月18日 | 第9回就労支援フォーラムについて・今後の部会の取り組みについて 販路開拓事業の報告 |
| 9月22日 | 第9回就労支援フォーラムについて・今後の部会の取り組みについて 販路開拓事業の報告 |
| 9月27日 | 第9回就労支援フォーラムの開催 |
| 11月17日 | 第9回就労支援フォーラムの反省・第10回就労支援フォーラムについて ・今後の部会の取り組みについて・販路開拓事業の報告 |
| 令和8年1月19日 | 運営会議の報告 次年度のフォーラムについて あまよう特別支援学校修了生の進路状況について 販路開拓事業の報告 |
| 2月25日 | 次年度のフォーラムについて ・次年度の部会開催日程について 販路開拓事業の報告 |
| 3月25日 | 次年度のフォーラムについて ・次年度の部会開催日程について 販路開拓事業の報告 |

◇福祉的就労へのアプローチ

- 目的 障害福祉サービス事業所の商品を広める
- テーマ 授産品の質の向上と情報発信
魅力ある商品づくり・仕掛けづくり
- 具体的な取り組み
 - ①産業フェアなどイベントへの参加
尼うえるフェアの開催
 - ②作業依頼の情報発信
 - ③ジョブリンクamaのHP更新

◇一般就労へのアプローチ

- 目 的 一般就労の実現
 企業への障害者雇用の啓発
- テーマ 一般就労における課題の掘り下げや共有
 就労に向けての各種相談窓口の情報発信

- 具体的な取り組み
 - ①尼崎市障害者就労支援フォーラムの開催

福祉的就労へのアプローチ 具体的な取り組み①

共同出店の参加・開催イベント

開催イベント

- 尼うえるフェア:6/11-12,7/9-10,8/6-7,9/10-11,10/8-9,11/12-13,
12/10-11,1/14-15,2/18-19,3/18-19 開催(延べ227事業所参加)
- 縁JOYマルシェ:7/25,10/17,11/28,3/27 開催(延べ74事業所参加)

出店イベント

- ひょうごヒューマンフェスティバル:8/9(8事業所)
- ありおか子どもフェス:9/20(8事業所)
- 尼崎市就労支援フォーラム:9/27(12事業所)
- 尼崎市民まつり:10/5(13事業所)
- あまがさき産業フェア:11/20-21開催(8事業所)
- 宝塚Uganまつり:11/23(10事業所)
- ひょうご福祉事業所フェスティバル:12/6(7事業所)
- 総合老人福祉センターまつり:3/7(4事業所)
- ボランティアマッチング会:3/9(10事業所)
- 劇団四季ファミリーミュージカル:3/13(11事業所)

ジョブリンクama:年間出店数34回、年間総売上3,317,493円

福祉的就労へのアプローチ

共同出店の売上げ推移

| 年度 | 出店回数 | 延べ参加事業所数 | 総売上金額 | 購入者数 |
|--------|------|----------|-----------|-------|
| 2018年度 | 10 | 80 | 742,470 | 966 |
| 2019年度 | 16 | 150 | 1,006,880 | 1,330 |
| 2020年度 | 15 | 141 | 991,790 | 1,183 |
| 2021年度 | 17 | 174 | 795,790 | 1,075 |
| 2022年度 | 26 | 238 | 1,654,500 | 2,184 |
| 2023年度 | 26 | 251 | 1,766,470 | 2,187 |
| 2024年度 | 30 | 353 | 2,700,563 | 2,902 |
| 2025年度 | 34 | 392 | 3,317,493 | 3,202 |

福祉的就労へのアプローチ

工賃向上への取り組み

2025年度も昨年に比べて売上がのびた

○参加事業所の増加

○他市でのイベントにも参加

（伊丹）ありおか子どもフェス （宝塚）Uganまつり

（神戸）ひょうご福祉事業所フェスティバル

○（有）MSコーポレーションと縁JOYマルシェを開催

JR尼崎駅前のあまがさきキューズモール、尼崎中央公園、JR立花駅前にて

今年度も定期的な継続開催をめざす

福祉的就労へのアプローチ 具体的な取り組み②

作業依頼の情報発信

- ・名刺作成
- ・バネばらし
- ・ポスティング
- ・発送業務
- ・梱包作業
- ・そら豆の皮むき
- ・野菜販売
- ・商品の検品
- ・袋詰め
- ・清掃業務

- ・お菓子の詰め合わせ(就労支援フォーラム講師の方へのお礼)
- ・ポリテクセンター内での弁当販売(ジョブステーション西宮からの案件)
- ・はちみつ瓶詰(あまがさき産業フェアからつながる)
- ・エコブース管理・巡回(尼崎市民まつりにて)
- ・巾着・ランチョンマットセット発注(ボランティアマッチング会)

※上記の作業内容について、市内日中活動系サービス事業所などへの情報発信をおこなった。

福祉的就労へのアプローチ 具体的な取り組み③

ジョブリンク amaのHPを更新

企業・団体から障害福祉サービス事業所への作業相談を共同窓口として受け、企業と事業所等をつなぐ役割を担うため、平成30年度にHPのリニューアル。企業・団体向けに、市内の事業所の取り組みPRや自主製品のアピールを。また、尼うえるフェアなどの販売会の情報や販路に関する情報発信を随時おこなっている。



一般就労へのアプローチ 具体的な取り組み

尼崎市障害者就労支援フォーラムの開催

日時：令和7年9月27日（土）11:00～16:00

場所：尼崎商工会議所 7階

○午前：①「行政説明（就労選択支援について）」

尼崎市福祉局障害福祉政策担当より説明

②講演「阪神友愛食品株式会社における

障がい者雇用の取り組みについて」

講師：阪神友愛食品株式会社

代表取締役社長 大橋 恭子氏

従業員1名

一般就労へのアプローチ 具体的な取り組み

尼崎市障害者就労支援フォーラムの開催

日時：令和7年9月27日（土）11:00～16:00

場所：尼崎商工会議所 7階

○午後：障害福祉サービス事業所説明会

参加事業所 19事業所

○参加者数

午前の部71名 午後の部78名 計149名

尼崎市障害者就労支援フォーラムの開催

(講演会のアンケートより)

- ・ 合理的配慮で障害のある方だけでなく他のスタッフの環境整備にもなると聞いて合理的配慮の大事を再確認しました。
- ・ ご本人の声もとても重く「相談する」が出来ないでいる方へどのように支援していこうかと考えさせられました。
- ・ 当事者さんの話、聞いて良かったです。話をしていただくことの大切さを改めて感じました。
- ・ 当事者のお話は心に沁みました、働き続けられたのは会社や就労支援機関の存在、訓練の重要性を認識できました。
- ・ 保護者の立場なので、企業や事業所を知る機会があって良かった。まだまだ知らないことだらけなのでこういう機会をもっとほしい。

尼崎市障害者就労支援フォーラムの開催

(事業所説明会のアンケートより)

- ・短時間に多くの事業所とお話できてとてもよかったです。
- ・とても丁寧に教えていただきました。新たな資源を知れて良かったです。
- ・昨年と比べ新しい事業所や就労支援のサービスや内容に大きな変化があった事業所があり、活動、利用者の様子を知ることができました。。
- ・とても詳しく教えていただけました。自身でも見学にいければと思いましたがありがとうございました。
- ・今回はどんな事業所があるのか知りたかったので詳細までは聞けなかったが参考になった。

今後に向けて（部会まとめ）

◆福祉的就労

就労支援事業所の売り上げ促進する方法や、販売機会について検討していく必要がある。

○令和8年度の取り組み

- ・あまがさき産業フェアなどのイベントへの参加
- ・月に1回（2日間）尼うえるフェアを開催

今後に向けて（部会まとめ）

◆一般就労

- ・第10回 尼崎市障害者就労支援フォーラム

日 時：令和8年9月26日（土）

場 所：尼崎商工会議所 7階

講演企業：尼崎市能力開発支援担当

ヤンマーシンビオシス株式会社

今後に向けて（部会まとめ）

（今後の部会に向けての意見）

- 0人雇用企業の障害者雇用に対する困り事とアプローチの検討。
- 障害者雇用について活動している企業等の団体の調査。
- 引きこもり等で就労に結び付きにくいケースについて。
- 支援学校に対して、進路としての尼崎の福祉サービスの情報提供。
- 障害の種別で実際の雇用率に隔たりがある、啓発の必要性を感じる。
- 他部会（くらし・あまっこ）と共同のフォーラム開催について検討。
- 情報収集していきたい（平均工賃・就労選択支援）
 - ⇒今後も引き続き課題の整理等を行っていく。